

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2年 9月 15日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470202585		
法人名	有限会社 再輝堂		
事業所名	グループホーム福寿草		
所在地	広島市安佐南区相田2丁目15-19 (電話) 082-832-7110		
自己評価作成日	令和2年7月31日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470202585-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年9月2日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

グループホーム福寿草は、基本理念（和顔愛語）をモットーに、利用者皆様に笑顔になって頂ける様、又、日々穏やかに過ごして頂ける様、心掛けております。季節感を感じられるケア、花や野菜を手にとって頂いたり、窓辺にお花を植えたり、季節の行事等、五感を大切に作るケアを実践しております。最後まで口から食事をして頂ける様にと、その人にあった形態での食事を、3食手作りで提供しています。「ここに来て本当に良かった！」と思っけて頂ける様、職員一同取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

こじんまりとした家庭的な温かい雰囲気のグループホームである。利用者の希望を取り入れた献立も、一人ひとりの状態に対応した調理形態や食器など利用者の目線で生活の質を高められるよう工夫されている。家族訪問も自由で、退職した職員も利用者の笑顔を見に時々訪問して交流が図られている。各居室は8畳と広く、布団干しやエアコンの清掃などで清潔に整えられている。管理者はじめ職員は、入居時から看取りまでいつも利用者に寄り添いながら介護に取り組んでいる。医療機関受診の際は職員同行で介助支援がなされている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	朝の申し送り時には「和顔愛語」を確認し、今日も一日笑顔で接する様に、ミニミーティングを行っている。	朝のミーティングで理念の「和顔愛語」の真意を共有し、和やかな笑顔で接するとともに、利用者が笑顔で暮らすにはどのように接していけばよいか再確認し、笑顔で愛しい言葉で利用者寄り添うよう実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入し、地域の清掃活動等に参加している。近隣の方にお花や野菜を頂いたり、散歩中に声を掛けて頂いたりしています。ホームだよりを町内会で回覧し、ホームの状況を理解して頂いている。いきいき100才体操にも参加している。	利用者と地域住民との良好な関係が構築されている。大型のごみ入れを提供してもらい、町内会専用のごみ収集場の提供など配慮してもらっている。地域の人が家族の徘徊などの相談に訪れることもある。とんど祭りやいきいき百歳体操に参加するなど、日常的に交流し、地域の人と馴染みの関係になっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方が相談に来られたり、質問などに随時対応している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では、地域包括支援センターの職員さん、町内会の方、家族の方などに出席して頂く様、お願いして意見交換を行っている。	利用者の家族、町内会長、地域包括センターの職員などが参加して話し合いが行われている。夜間想定による消防訓練の反省や停電の場合、階段昇降機が使用できない際の避難経路など利用者の安全対策を話し合いサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	地域包括支援センターや市、区の介護保険課に相談させて頂いたり、状況説明をしたりして、指導頂いている。生保の方の受入れも行っている為、区的生活課や、民生委員の方とも相談している。	日頃から、市や区の介護保険課の担当者とも良好な関係を築き、月に一度は訪問してもらっている。訪問時には実績状況を説明し、指導や情報提供を受けている。地域包括支援センターの懇親会にも参加し協力関係を築くよう取組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関の施錠は夜間のみとし、声掛け、見守りの強化を行い、職員全員で拘束をしないケアに取り組んでいる。	入居時、家族に身体拘束をしないケアについて説明し理解してもらっている。外部研修に職員を積極的に参加をさせ、伝達研修などで周知を図り、何が身体拘束となるかを全員で理解し、安全と自由を考慮しながら拘束をしないケアを目指して取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	基本理念（和顔愛語）のもと、職員全員で虐待防止に努めている。月1回のミーティングで話し合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要な利用者の方には、活用できる様支援している。月1回、面会に来られる後見人の方にお話しを聞いたり、助言頂いたり、法テラスに相談して、助言頂いたりしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の締結時には、本人、家族に充分説明を行い、納得してもらっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関入口に意見箱を設置している。意見、要望は、何時でも受け入れられる様、体制は整えている。	家族の訪問時にはこちらから意見を聞くようにしているが、なかなか訪問できない家族の意見や要望は電話やラインで連絡をとり、運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	いつでも職員の意見を取り入れられる様に配慮している。年2回懇親会を行い、代表者も含め全員で、スタッフ同志何でも話せる関係作りに努めている。	管理者は常にどのような意見や提案でも真摯に迅速に対応してくれ、利用者のより良いケアに反映されている。シフトの配慮や休みなどもお願いしやすく家庭第一を考慮し、働きやすく、働き続けられる職場となっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の意見を聞いて、可能な限り改善に努めている。家庭の事情等を聞き、可能な限り、シフトの配慮を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	管理者、職員には、働きながら経験を積み重ねる様に勧めている。可能な限り、研修等は受ける様、シフトの配慮は行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	グループホーム協会や、同業のネットワークに加入して、情報交換に努めている。地域包括支援センター主催の意見交換会に参加している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	本人の希望などを聞いて、職員間で共有して、信頼できる環境作りに取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族の希望などを聞いて、職員間で共有する為、ケアプランに取り入れ、信頼できる環境作りに取り組んでいる。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人、家族の希望、相談をしっかり聞き、的確に把握して対応する様、努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員は暮らしの中で、利用者から知恵や料理など教えて頂いたりしている。洗濯物を一緒にたたんだり、出来る事は一緒に行う様、心掛けている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>本人の日々の様子を見て頂いたり、状態を伝えたりして、本人と家族のコミュニケーションが取れる様に、職員が間に入って関係を支えている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ラインを通じて、日常の写真を送ったり、家族や友人に出す手紙や年賀状、暑中見舞など職員が手伝い、なじみの関係が維持出来る様に支援している。家庭の都合で退職した職員も、時々面会に来てくれ、利用者も喜んでる。</p>	<p>日ごろの利用者の人間関係や思いを把握し、会いたい人や場所へ出かけ、関係が継続するように支えている。姉のお店のお好み焼き屋さんへ行きたいという利用者を職員が同行し馴染みの人との人間関係が途切れないよう支援に努めたこともある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	利用者同志の関係性を把握して、席の配慮など、お互いに関わりが持てる様に、職員が間に入り支援している。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	手紙や電話などで連絡を取り合うなどしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	日頃から、本人の好みや得意な事などを話題にして、本人が何をしたいのか把握している。本人から聴き出せた情報は、職員全員で共有し、検討している。	日々利用者の思いを直接聞いたり、意向を把握するよう努め、職員間で共有し実行に結び付ける努力を行っている。左利きの利用者には左利き用のスプーンを取り入れたり、利用者目線で支援している。	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	一人ひとりの経験や暮らしを把握して、役割や出番など場面作りをしている。例えば、繕い物をして下さったり、ボタン付などお願いしている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	一人ひとりの体調や、ペースに合わせて、日々を穏やかに過ごして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>介護計画は、本人、家族の意見を取り入れ作成している。職員間で計画の内容について担当者会議を行い、見直している。</p>	<p>介護計画は、本人、家族の意見を取り入れ、関係者が話し合い作成している。利用者の能力に応じた支援や生活の質の向上のために、見直しは随時臨機応変に行われている。職員は担当利用者の日々の行動をよく観察してどのような支援が適しているか検討し、介護計画につなげている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>利用者の状態が把握出来る様に、具体的な記録をしている。情報共有しながら実践している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その場の状態、状況に応じて臨機応変に行動、対応する様に努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の方、消防署、スーパーなどに協力して頂く様に努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>必要に応じて、協力医の往診、診察を受けている。希望されるかかりつけ医などに受診し、介助を行っている。</p>	<p>本人、家族の希望を重視し、かかりつけ医の受診、協力医の往診が行われている。受診の際には職員が同行し介助支援を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員は、利用者の身体状態の変化や気づきを随時医師に伝えて、適切な医療を受けられる様に支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院された際には、ホームから入院先に面会訪問したり、家族に電話して、状態の把握や退院後の方向性について、家族や病院関係者と話し合っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に本人、家族等に終末期の対応について、聴き取りしている。看取りを希望される場合は、医師と連携して、本人、家族の希望に添える様になっている。	終末期には、状態の変化に応じて家族と話し合いを重ね、希望を聴き事業所でできる限りの支援をしている。看取りを希望する家族、利用者も多く、看取りの間は職員のほかに施設長が常に寄り添い、チームで支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時の対応など、職員同志で勉強会を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回、夜間想定訓練を行っている。避難誘導マニュアルを基に実施している。スプリンクラー、自動通報装置の設置、又、食料、水等を備蓄、整備している。避難訓練には、町内会の方も参加して下さっている。	町内会長や町内の防災士、近隣の方が協力的で、避難訓練にも参加してもらい指導を仰いでいる。緊急連絡網を作成し地域と協力体制を築いている。職員を採用した際も必ず、夜間想定火災や地震などの災害時の避難に対応できるよう研修を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員会議において徹底している。日々の会話で優しい言葉をかける様になっている。	利用者へ排泄の確認をする際は、周りに配慮し、言葉がけにも注意している。食事時に無理にエプロンを強要したり、排泄介助、着替えなどの際、誇りやプライバシーを損ねないよう配慮しながら対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	あらゆる場面で、本人の希望に添える様に、「どうしようかね?」「どうしたらいい?」の声掛けをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースを大切に、日々生活して頂ける様に支援している。出来る限り、本人の希望を聞いて、生活して頂く様にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	訪問理美容を受ける際は、本人の希望（丸刈り、おかっぱ等）取入れ、カットしてもらっている。本人好みの衣服や、格好が出来る様、自分で服を選んで着て頂く様にしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事のメニューを、入居者と相談して決めたりしている。野菜の皮むきなど、手伝ってもらっている。誕生日には、好みの献立を用意したり、手作りケーキでお祝いしている。	食事はすべて手作りで、一人ひとりの好みを聞きながら、献立に反映させている。食事作りの音や匂いの中で、食事を心待ちにする時間もあり、左利き用のスプーンの使用など食器の配慮もある。行事食も豊富で柏餅、ちらしずし、おせちなどで祝い、団子や干し柿などは利用者が楽しみながら作っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一人一人の状態や希望に応じて、その人に合った食事の提供をしている。例えば、朝食はご飯、粥、トースト等、食事の栄養バランスなどに配慮して調理している。水分や食事の摂取量は記録に残し、把握、管理している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>定期的に歯科医、衛生士の訪問を受け、検診、口腔ケア等して頂き、スタッフにも助言、指導して頂いている。食後、うがいや歯磨きなど、個人個人に応じて支援している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握して、トイレ誘導、排泄介助など支援している。</p>	<p>トイレに行くことを拒否していた利用者を、最初はトイレの入り口、次は便座で排泄、最終的にはパットなしリハビリパンツへと1年半かけて自立へと誘導支援した事例もあり、一人ひとりに合わせた排泄支援が行われている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>植物繊維を多く含む食品を食事に取り入れたり、水分補給、体操するなど、便秘予防の対応をしている。排泄の記録は把握している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴時には、一人ひとりの時間をとり、入浴して頂いている。声掛けしながら背中を流したり、シャワーをかけたり支援している。</p>	<p>入浴は常に二人体制で行い、温度やシャワーの水量の強弱にも気を配り、目を離さないように安全に心掛けている。利用者と職員のコミュニケーションの場でもあるので、心を通わせることのできる楽しい時間になるよう努力や工夫をしている。ゆずや菖蒲湯などで季節感を味わうこともある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>一人ひとりのペースに合わせて休憩したり、活動したりされる様に支援している。リビングと廊下にソファを置き、自由にくつろげる様にしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>医師の指導の下、確実な服薬支援のため、再度、服薬前に氏名を確認の上、服薬してもらっている。症状の変化にも注意している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>利用者それぞれの得意とするもの、出来る事など把握して、役割や楽しみを持って生活出来る様に支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>気候の良い時は、日光浴、散歩、買物などに出掛ける様にしている。週1回いきいき100才体操に参加している。</p>	<p>近くの公民館のいきいき百歳体操に参加し、地域の人と交流を図っている。銀行の帰りなどに買い物を楽しみ、外の空気や様々な人と触れ合い、季節を感じ気分転換が図れるよう外出の支援をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>利用者、家族の希望に応じて支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>家族や友人に手紙、ハガキ、電話など、希望に応じて支援している。今年はコロナウイルスの関係で、面会自粛された家族に、ラインやメールで写真を送ったりしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>家庭のような雰囲気、落ち着いた過ごせる様になっている。居間、廊下にソファを置いて、ゆっくりとくつろげる空間作りに配慮している。玄関や廊下には、季節を感じられる様な飾り付けや、作品の指示をしている。</p>	<p>食堂兼リビングは庭の見える日当たりのよい場所にあり、利用者は、日中、おかずの匂いの漂うリビングで、思い思いにくつろいでいる。窓外の季節の風景が楽しめるようソファの位置を変えるなど利用者目線で、使用しやすい工夫や配慮がなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>好きな場所で、自由に過ごせる様に、ソファを居間や廊下に置いている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅で使われていた馴染みの物など、持って来て頂いて、安心して居心地よく過ごせるよう配慮している。部屋作りも、家族と本人でもらっている。ソファやテレビの設置もされている。</p>	<p>各居室は8畳の和室に一間の押入れ、陽光の入る大きな窓があり、清潔感、開放感に満ちている。利用者はTVや仏壇、アンティーク調の二人掛けソファ、花、家族の写真など馴染みのもの、大切なものなどに囲まれ、居心地よく暮らしている。安全に配慮、工夫した部屋作りがなされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>一人ひとりの身体状態に応じて、安全に過ごして頂ける様に、手摺等を設置したり、階段では昇降機を設置して、利用を支援している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム福寿草

作成日 令和2年10月23日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	10	介護計画書を確認してもらっても、家族（本人）から意見や要望が出てこない。	意見や要望が出てくる様に、こちらから積極的に声掛けする様にして、不満や要望を引き出す努力をする。	月1回の手紙だけでなく、電話やメールでお話しする。	1年間
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。